

令和7年度第1回ともいきメタバース研究会 議事録

令和7年7月23日（水）13：00～14：30
オンライン

1 自己紹介

2 県のメタバース事業について、情報共有について

資料「メタバース研究会資料」を大野委員（共生担当課長）より説明。

3 構築中のメタバースワールドの紹介

令和7年度事業で用いるメタバースプラットフォームクラスターの構築中のワールドを見ながら、意見交換を行った。

4 意見交換（委託事業者同席）

「令和7年度メタバースを活用した社会参加支援等事業委託」の事業者の「クラスター×ゆずプラス共同事業体」出席のもと、以下の意見交換を行った。

澤委員

募集や広報、ログイン時の課題が多いように感じたが、中の仕組みの課題などについてはあったのか。

岩崎委員

入った時にzoomにつながって会話するだけのよう形だったり、チャットがやりづらいなどのインターフェースの問題もあったりと認識している。そもそものプラットフォーム側の問題でもある。

増田委員

国内事例などをまとめてくれているが、話を聞きに行ったりはしないのか。県として聞けば団体も話はしてくれると思うので、今後の参考や事例を横展開できるのではないかな。これは提案でも質問でもある。

大野委員

ご指摘の点はそのとおりなので、話を聞けるところがあるか探して、我々の事業に生かしていくことを検討したい。

増田委員

プラットフォームもどのようなものを使っているかなど参考になる部分もあると思うので、仕様に入っていないと思うが、事業者の方と一緒に話を聞きに行くなどできればいい。

～クラスター社による構築中のワールドの説明～

増田委員

シンプルで、ゲームをやっている人は理解できるが、ちょっと使ってみないとわからない部分もあるので、どのようにガイドするかが重要と感じた。ただ、昨年までと比べるとかなり使いやすい。相談室は複数開設できるのか。

クラスター社

使い方はプライベートスペースとして、同じ形を複製できる。個別のユーザーに合わせて別々のURLを出すことができるので1対1の空間ができる。

増田委員

行政サービスの窓口対応としても個室感を出してすることができると感じた。

クラスター社

そういう相談も多い。他社サービスでは個別に思えて一緒のサーバーだったりするが、弊社の場合はサーバーを分けられるのでプライバシーとセキュリティの問題をクリアできる。

岡村委員

個人的な感想としてはすごいと思った。病気を発症してから10年経つが海に行っていないので、海の情景に感動した。実際に行ってみたいと思ったので現実とメタバースの融合の効果がとてもイメージできた。第一回目からずっと話しているが、バーチャル市役所が簡単な福祉の申請ができるといいと思っている。それが現実的だと思えた。ワールドオープンしたときにスタッフはいるのか。言い合いや問題が起こった時の対応はどうするのか。

クラスター社

常設の空間にスタッフは常駐していないが、クラスターは通報制度や問い合わせなどがサービスとしてあり、付きまといや暴言などは退出や、悪質の場合はアカウント凍結などできるので、対応はできると考えている。また、ログも残っているので後から特定することも可能。

古川委員

まずは、私が普段使っているメタバースもクラスターなのでうれしい。NHKの番組にも出たのでよかったら見てください。医療的ケア児メタバースで検索するとみられます。

キラキラ光るところにアイテムがあったり、美味しそうなケーキがおいてあったり楽しかった。こうなったらいいと思うところは自分のアバターで入れるといいと思った。かわいいお洋服だねとか、そのアバターかわいいねとか話も広がっていくと思った。

エリアに行くとスタンプをゲットできるとか、ゲーム性があると楽しい。スタンプをいくつかゲットすると、ともいきアバターがもらえるとかも楽しそうと考えていたが、アクセサリーもとてもいいと思った。

あとは、案内のスタッフがいて自由にお話できると嬉しいと思いました。話しづらさが

あるので、普段チャットで話しているのですが、チャットもグループの中だけでできるか？できたらいいと思った。ワールドが素敵で楽しいので、私もクラスターのフレンドをたくさん誘っていきたい。

クラスター社

チャットのグループ別については今のクラスターの仕様では難しい。開発の要望としては上に伝えるが、プロジェクトの開始には間に合わないかもしれない。ただ、そのような意見も多くもらうので開発部門に伝えたい。

トキワ委員

ゲームをよくするが、リピートしたくなる空間だと思った。ひきこもりの人が社会につながるきっかけはインターネット。先日もひきこもり当事者に会ったが、イラストを描いていて、Vtuberの場など少しずつリスクがある場に移行していった。安全性に配慮している最初の間として機能したらいいと思った。

高野委員

この施設を訪問したくなった。モデルになった施設はあるか。これを見て行ってみたいと、出かけるきっかけになればいいと思う。

クラスター社

エントランスは概念としてクリーンで安心感や信頼感があるようなイメージと、海や山など自然がありながら都会的でもあるという神奈川のイメージを空間にした。

ラウンジは大学やオフィスなどをイメージしてコンセプトチュアルに作っていった。

相談室は横浜イングリッシュガーデンを意識している。最初は室内で1対1でと考えていたが、きちんと安全性が確保された状態で外に出てみたいというニーズを考え、プライバシーの確保されている屋外を探したところイングリッシュガーデンのイメージを採用して、オリジナリティを出した。

海辺はゆずプラスからの紹介で別の空間の海辺を参考にしながら、個人的には海が好きでリフレッシュするときに、行ったりするが、夜の海は怖かったので朝焼けをイメージして、FiKAなど自己開示をしたり自身の心と向き合う場所としてあえて明度を落とす調整をし、そこから昼に向かって歩き出せるように後押しできる空間にできればとイメージで作っていった。

高野委員

よくわかった。きっと似た場所があるので参加者に見つけてもらいましょう。

澤委員

プレイスになるようにシラスやマシュマロなどのギミックが仕込まれていて、プログラミングとしての技術もあるが、かなり進化してきていると感じる。

色々な状況に置かれている方が、このような素敵な空間に来られるようになってきたことでいるだけで前向きになれるようになっていくと感じる。私はRPG出身だが、クリエイターの方は分かると思うが、初心者でもとらえやすいガイドのようなものがあるといい。最後は人

なのでRPGも敵を倒すだけでなく、ゲームマスターのような人が空間をうまく使えることが大事。誰もがともに生きるような場所に入れるようになっていくべきだと感じている。技術の良さは分かったので、ここに来た人がどうイコールフットイングが達成できるかが重要だと思うので県側とも継続して議論したい。

江口委員

改めてクラスターのすごさを実感。前に見たときよりかなり進化している。舞台装置は整ったので県側が何を実現するかが問われるタイミングにきている。当事者が何をしてどう一緒になって参加して、何をトリガーにしてコミュニケーションをとるのか、世界をつくっていくのか考えないといけない。ここからが勝負になるので、頭をフル回転して考えないといけない。何ができるかはよく分かったので、どのように楽しませるか委員の皆の意見も借りながらたたき台になる企画を県が本気で作らないといけない。

岩崎委員

始めてイメージを確認したが、想像を上回っている。江口委員からもあったが、色々と検討はしている。例えばメッセージを張るところなどに「いいね」や質問への回答ができれば、一昔前の雑誌の質問コーナーのような居場所になるのではないかな。また、シラスが全部集まった時の報酬も絶対あったらいいので、今後その協議していきたい。今後ともお願いします。

大野委員

メタバース初心者だが、ここまですごいものなのだと改めて感じた。技術のすごさに圧倒されている。これを使ってどうするかが我々に問われているところと理解している。それぞれの方が思いを持って入って来られる空間になっていると思うので、何ができるか我々の方で考えたい。神奈川の特徴もとらえていて、人に寄り添って作られているように感じた。ワールドを活用して皆さんの意見も聞きながら進めていきたい。

小手室長（事務局）

すごい素敵なワールドだった。クラスターのデータ量が多そうなので、スマホでの利用が少し心配だと思った。ユーザーの声を反映しながら使いやすいようにしてもらえればいいと思う。TOMOIKI（ともいき）はどこかで出してほしい。何でしらすなのかとは最初思ったが、色々なところに色々なメッセージがわかりやすく届くといい。ただ楽しいだけでなくメッセージをどう届けるか、考えられるといい。